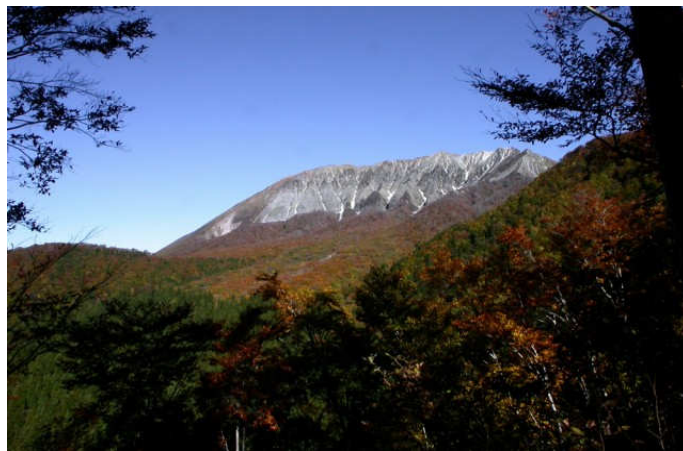
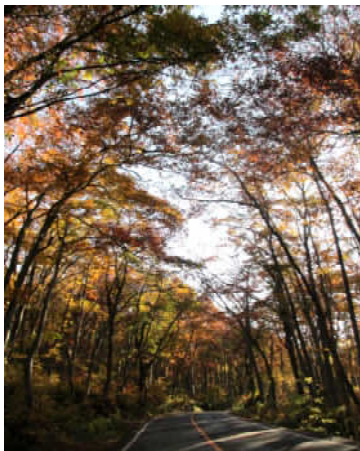


大山の森だより

2014年秋号



青々した草木も次第に色味を帯び、森は赤や黄色に染まります。
空気が澄み渡り、空が高く感じられる季節となってきました。



紅葉の気になる季節。大山では、例年10月下旬から11月初旬にかけて、ピークを迎えます。
10月下旬になると、頂上付近では、雪が降り始め、初冠雪を迎えるのもこの頃です。

過去10年の大山の初冠雪

平成16年(2004年) 10月27日	平成21年(2009年) 11月 3日
平成17年(2005年) 11月17日	平成22年(2010年) 10月27日
平成18年(2006年) 11月 7日	平成23年(2011年) 10月26日
平成19年(2007年) 11月12日	平成24年(2012年) 11月 1日
平成20年(2008年) 11月 9日	平成25年(2013年) 11月12日

※平成16年から平成19年までは米子測候所発表のデータ。

平成20年以降は、大山町役場大山支所より、目視で積雪を確認した日。

季節は秋

秋といえはなんといっても山ではキノコ（このあたりではタケといいます）です。いろいろな種類のキノコを入れたキノコ鍋は食べた人はもちろん食べたことがない人も、ついハシがのびてしまう程ウマイものです。

「これはマイタケ、これはザーザー」

とハシでつまんで行儀悪く食べるのがツウというものです。最後に、キノコのだしの中にごはんを入れて、タマゴでとじるとこれがなんとまあ極楽と思うばかりのウマさで、日本人に生まれてよかったと思う瞬間であります。

しかし、しかし、しかしですぞ 世の中には**毒キノコ**というモノがありまして、食べると中毒を起こすという とんでもないヤロウなのであります。その毒キノコの代表格が **ツキヨタケ** であります。（大山周辺ではクマヒラと呼ぶのだそうです）

さらに悪いことにこのツキヨタケ、見た目は非常にうまそうに見えることと、よく人の目に付く場所にでてきています。毎年ツキヨタケを誤って食べ中毒症状を起こしてしまったという報告があるくらいです。今回は、そのツキヨタケの実態に迫りその中毒の恐ろしさを改めて学習し、決してツキヨタケに近づかない方法を身につけましょう。



ツキヨタケ

キシメジ科ツキヨタケ属



- 特徴**
- ① 外観がシイタケ(出始め)、ヒラタケ、ムキタケに似る
 - ② 暗闇でひだが青白く発光する
 - ③ 柄に暗紫色～暗褐色のシミがある。
 - ④ そして最後になんといっても猛毒であります。（厚生労働省資料より）



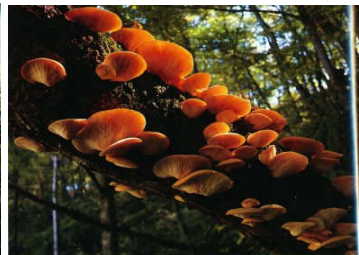
ツキヨタケ発光 9月30日 伊丹撮影



シイタケ



ヒラタケ



ムキタケ

夏から秋にかけて、ブナの枯れ木などに重なるように発生し、食べるとイルジンSという毒成分により下痢や嘔吐、時にはケイレン、脱水など重篤な症状も現れます。

◎ツキヨタケ食中毒の事例

圧倒的に多いのがヒラタケと間違えて食べた事によるものです。特にヒラタケと称して店舗に持ち込み、ツキヨタケを販売するなど、キノコ採りのベテランでも間違いを犯してしまうようです。症状としては、食後1時間程で下痢や嘔吐の症状が現われ、時には見るものが青く見えたり、目の前をホタルが飛び交うような幻覚症状も出るようです。

これはツキヨタケに含まれるイルジンS、イルジンMと呼ばれる毒成分のためによるものですが、もっとも長くても10日程度で回復するようで、死に至ることはめったにないようです。

さらに最近の研究で、この成分には抑癌作用があることがわかりましたが、毒性が強すぎて治療には使えないとか……。 (本当でしょうか)

◎初期症状としては

〔胃の感じが通常と違う〕
〔胃がゴロゴロする〕
〔胃の不快感〕
〔胃の膨張感〕

などがあげられますが、とにもかくにも早めに胃の洗浄ができる設備の整った医療機関を受診することが大切です。

※ちなみに9月22日現在西部管内でキノコによる中毒症状の報告例はありません。

◎見分け方

ツキヨタケの一番の見分け方は、柄の部分に黒いシミの有無を確認することが一番簡単な方法です。そしてシミがあれば当然食べてはいけません。



(引用文献)

今関六也・大谷吉雄・本郷次雄(1994) 山溪カラー名鑑『日本のきのこ』 24p,28p,62p,114p

～ 活動報告 ～

6月7日、14日、21日 大山野鳥観察



実は石畳の参道付近で、サンコウチョウの鳴き声を聞いたもので、早速観察会を行いました。残念ながら声はもちろん姿も見ることができませんでした。

また木谷周辺で、アカショウビンの姿を見つけようと大胆な計画を立てたものの、これも空振りに終わり、今年の野鳥観察会は消化不良のうちに終了してしまいました。

12月に行う冬鳥の観察会に期待です。



6月28日 大山花の観察会



天候はあまり良くなかったものの、奥宮から中国自然歩道を寂静山付近までと長丁場歩きました。

これぐらい歩かないと、花があまりなかったという悲しい現実の中、腹をすかして昼食場所「ぎんれい」へ直行だあ！

7月18日～19日 大山登山



ん！ん！
変な男がいるぞ！
何者だ！
名を名乗れ！！

今年こそはヒメボタル観察とご来光を拝む。二つを同時に体験するぞ！と勇ましく登頂しました。

ああ しかし 残念無念
ヒメボタルこそなんとか確認できたものの、ご来光は今年も仰ぎ見ることはできなかった……。ただ、ただ暑かっただけだったああああ
下山後、大山寺橋で撮りました。お疲れ様でした。



8月2日 阿弥陀川探検



やって来ました阿弥陀川 今年も来たぜ！
さあ冷たい水の中だぞ登って行こうぜえ！



しかしやっぱり水は冷たかった。腰のあたりまでつかると、身体が硬直するようにキーンとなって思わず伸び上がってしまいます。

昼はソーメンをしましたが、寒さのあまりニューメンにして食べました。うまかったあ。

8月23日～24日 大山学校



今年は"いただき" (弓ヶ浜の周辺では ののこめし) 油あげの中に、ごはんや野菜を入れ炊いたもの) を作りました。小さな子供たちも野菜を切ったり米を研いだり大活躍でした。おかげで大変うまい"いただき" ができあがりました。

ただ残念なことには1人1個 (大きかったけどナア) しかなくもっと欲しかったナア……。



あくる日は早朝散歩で寂静山まで歩きました。鳥の声は今ひとつでありましたが、ハイイロチョッキリがミズナラのドングリに卵を産みつけた様子や、ナメクジの交尾(?)の様子が観察できました。

9月20日 木の実観察会



秋の味覚のひとつ、木の実の観察会を行いました。昨年は食べることができる木の実がたくさんありましたが、今年は少なく、こうやってサンショウの実を恐る恐るかじってみました。やっぱり少し辛かった。

どうです、なかなか個性的でステキな面々でしょう。



ー イベント情報 ー

■自然公園財団主催のイベント

秋の味覚散策会

開催日：10月25日(土)、11月8日(土)

時間：9時30分～13時頃

場所：大山寺地区周辺

集合：大山情報館1階

参加費：2000円(保険代・昼食代)



大山歴史散歩と精進料理

開催日：11月22日(土)

時間：9時30分～13時頃

場所：大山寺地区周辺

集合：大山情報館1階

参加費：3000円(保険代・昼食代)



大山冬の鳥観察会

開催日：12月6日(土)、13日(土)

時間：9時30分～12時頃

場所：大山寺地区周辺

集合：大山情報館1階

参加費：500円(保険代)



※日程等変更になる場合もありますので、事前にご予約・お問合せ下さい。

■周辺イベント

大山秋の一斉清掃

10月19日(日)紅葉シーズンを前に、大山町、伯耆町、江府町の各所で大山秋の一斉清掃が行われます。当日参加も可能。(当日参加の場合は9時までに各会場へ)

皆生・大山 SEA TO SUMMIT2014

10月18日(土) 環境シンポジウム、開会式など(皆生海浜公園)

10月19日(日) 大会、表彰式(日野川～大山頂上、博労座)

秋のご縁日 10月24日(金)

稚児行列、施餓鬼、採灯大護摩法要、
大山僧兵太鼓、散餅他(大山寺・参道)

大神山神社奥宮秋季大祭 10月24日(金)

秋の例祭。午前10時より祭典。
祭典終了後各種祈禱。(大神山神社奥宮)

自然公園財団 鳥取支部 大山事業地
〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)
TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2371
URL: <http://www.bes.or.jp/daisen/>